

11月祭の酒類規制に関する介入等について

【ご質問】（投稿日：2019年7月23日）

先日、第61回11月祭における飲酒行為に関する宣言と附帯決議が採択されました（原文については11月祭公式サイト）。附帯決議の二では大学当局の介入が存在したこと、三では介入は容認できない行為であること、五では全学実行委員会が大学当局に、次年度以降建設的な議論を進めることを要求することが述べられています。また、J-CAST ニュースの記事「「死者が出かねない」京大11月祭、全面禁酒に 運営反発も大学側「学生が自主的に決定したこと」」によりますと、京都大学広報課が取材に対して、学生が自主的に決定したことなのでコメントはない旨の回答をしたとされています。

私個人は、今年度の11月祭において全面禁酒をすることが望ましいと考えますが、来年度以降の11月祭において状況・条件次第では全面禁酒をする必要はないと考えています。

そこで、以下の通り質問いたします。

1. 11月祭全学実行委員会による前述の附帯決議二、三および五に対する見解・回答をお聞かせ願います。
2. 来年度以降の11月祭における飲酒規制についてどのように考えておられるのか、ご回答願います。
3. 前述の記事の広報課の回答は事実でしょうか。事実ならば、これは「大学当局は学生の自主的な決定を尊重する」という意思表示とみてもよろしいでしょうか。

以上、ご回答をお願いいたします。

【回答】（回答日：2019年7月29日）

（教育推進・学生支援部厚生課）

下記のとおりご質問に回答します。

1. 未成年によるものも含め毎年のように重大な飲酒事故が発生している状況に鑑み、一昨年度から11月祭の飲酒規制について事務局に検討を要請してまいりました。その中で一昨年度も、また昨年度も未成年によるものも含む重大な飲酒事故が発生し続けたため、今年度について、より強い要請をいたしました。11月祭事務局の発表した「11月祭における飲酒の現

状」をどうすれば防止できるのか、11月祭に参加する全学生に真剣に考えていただければと思います。

2. 大学としては、1.で述べたような状況から、来年度も全面禁酒が継続されることを望んでいます。

3. 取材に対して「学生が自主的に決定したことです、大学として特に回答することはありません。」と回答しました。